

景況調査

報告書

No. 91

令和3年4月～6月
令和3年7月～9月

実績
見通し



蒲郡商工会議所
中小企業相談所

令和3年度第1四半期(令和3年4月～6月)景況調査

1. 調査時点 令和3年7月1日～7月25日

2. 調査対象

- (1)対象地区 蒲郡市内
 (2)対象(回答)企業 106 [99 企業、7団体] 三河織物工業(協)、中部繊維ロープ工業(協)、蒲郡市上下水道工事(協)、蒲郡建設業(協)、三河繊維産元(協)、蒲郡地区旅館組合、蒲郡鉄工会]

3. 調査方法

聞き取り調査によるアンケート調査

4. 回答企業の内訳

業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	運輸通信業	全業種
合計	52 (3)	7 (2)	13 (1)	18	10 (1)	6	106 (7)

※ ()は団体

5. 概況

全業種総合判断DI値(当期実績)は、前期比では-6.6、前期実績(-15.4)に比較すると8.8ポイントと上昇の傾向が見られ、前年同期比では、6.6、前期実績(-21.9)に比較すると28.5ポイントと上昇の傾向が見られた。売上DI値は、前期比で-1.8、前期実績(-15.3)と比較すると13.5ポイントと上昇の傾向が見られた。収益DI値は、前期比で-10.5、前期実績(-14.3)と比較すると3.8ポイントと横バイの傾向が見られた。総合判断来期見通しは1.9、今期の実績(全業種(当期実績)前期比-6.6)と比較すると8.5ポイントと上昇の傾向が見られた。

「製造業」のうち食料品は原料全般が高騰で収益圧迫。米中の買付けが旺盛で日本の必要分確保が難しい状況。他方、国内市場では業務筋の回復が遅れ出口が見えない。小売は巣ごもり需要が薄れている。織物は売上は前期並みを維持。原材料コスト上昇が収益を圧迫。漁網・ロープはコロナ感染拡大により市場は厳しく生産量は10～15%の減少。特に漁業資材は減少が大きい。鉄工のうちく工作機械関係>日本工作機械工業会の受注総額では、4月1,239億円、5月1,239億円、6月1,320億円。内需・外需ともに好調を維持。当地区で同様の傾向も、コスト負担増による収益悪化が不安材料。<自動車部品関係>トヨタの国内日当たり生産は自動車は半導体不足の影響を受けながらも、堅調に1万4千台前後で推移。化学工業は海外市況が好調で需要活発。前年はコロナの影響で売上減少も、今期は少し持ち直した。海外受注次第で油断はできない状況。

「建設業」は年度当初という事もあり仕事量が少なく売上は停滞

「卸売業」のうち、繊維卸は<産業資材>車両用基布に1～3月並み堅調。一部で半導体不足による生産調整も。他の産業資材は5～6割程度。<インテリア>昨年4月から好調に推移し今年の4～5月は昨年よりも6月は昨年に比べ巣ごもり・給付金等の後押しがなく平年並み。<アパレル>リネン(麻)関係は生産量が限られ需要超過で高騰。

「小売業」はコロナの影響で消費の冷え込み、冠婚葬祭の縮小もあり先行き不安が続く。飲食は石油等その他小売は協調減産や経済活動の再開で需要超過が続く原油は値上がり続け、原油価格(WTI期近物/1バレル)は60～70ドル前半で推移。

「サービス業」のうち旅館関係は春休みから4月中旬まで一昨年比3～5割。4月中旬以降まん防・緊急事態宣言で宿泊者数は激減。4～6期全体では令和元年度比で2～3割の実績に留まる。6月に2年ぶり開催の形原温泉あじさい祭りは個人旅行者中心の利用。

「運輸通信業」 <貨物輸送>前年比・前期比とも輸出貨物量増加傾向

設備投資状況は、32事業所(60件)で設備投資が実施され「生産設備」等に投資された。来期は34事業所(53件)が「生産設備」等の設備投資を計画している。

経営上の問題点は、売上の停滞・減少、利幅の縮小、原材料(燃料)高、人手不足、工場機械店舗の狭小・老朽化、が項目別で上位を占めている。

当地区において 令和3年度第1四半期は横バイ傾向で、前年同期比では売上等は上昇も前期比では横バイ。業種毎では、製造業関連では内需・外需ともに回復が続く一方、まん延防止等重点措置・緊急事態宣言等により飲食・観光等の動きは抑制された。経営上の問題点で売上の減少を訴える声が6割を占めると同時に、景気回復に併せてコスト増・収益減を訴える声が増加。地方における個人消費停滞と景気の減速に加えて厳しい状況が続いている。

全業種(当期実績)

(DI 単位:%)

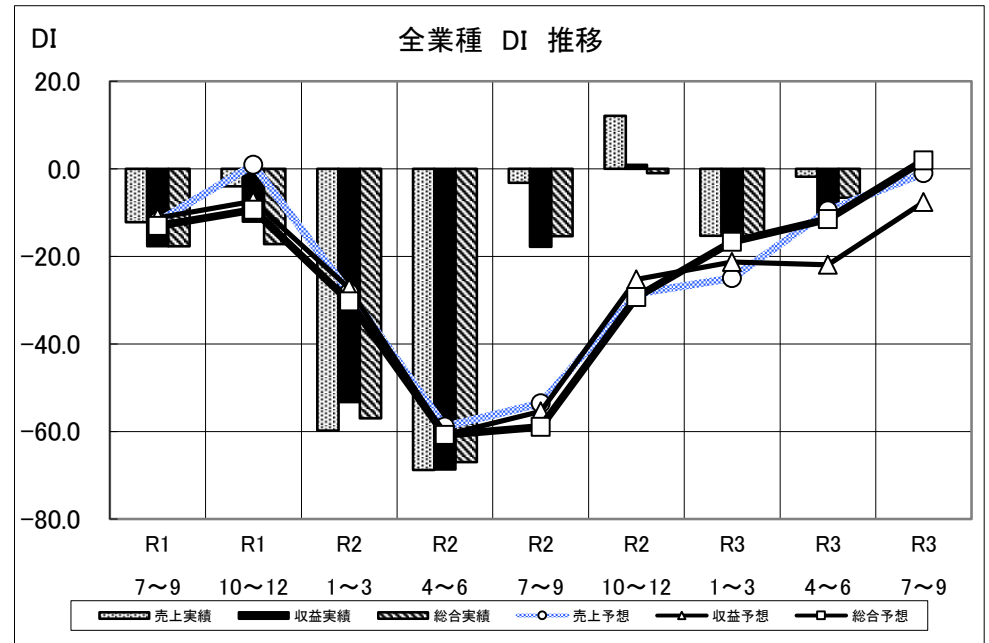
<全業種 各項目別推移>

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月～6月 に比べて	前期比 令和3年1月～3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月～9月 の見通し		売上		収益		総合判断		
					前年同期比	前期比	前年同期比	前期比	前年同期比	前期比	来期見通し
①生産額・売上額	17.8	-1.8	-1.0	R2.4～6月実績	-79.4	-68.8	-67.9	-68.7	-71.4	-67.0	-59.0
②製品・商品在庫	-5.6	-8.4	-10.3	R2.7～9月実績	-72.4	-3.2	-60.2	-17.8	-58.6	-15.4	-29.3
③資金繰り	7.5	-3.7	-6.5	R2.10～12月実績	-56.5	12.1	-44.4	0.9	-43.5	-1.0	-16.7
④採算(収益)	3.8	-10.5	-7.6	R3.1～3月実績	-30.5	-15.3	-25.8	-14.3	-21.9	-15.4	-11.5
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.9	1.9	0.9	R3.4～6月実績	17.8	-1.8	3.8	-10.5	6.6	-6.6	1.9
⑥貴社の業況(総合判断)	6.6	-6.6	1.9								

[総合判断]

業種	前年同期比	前期比	見通し	業種	前年同期比	前期比	見通し
全業種				卸売業			
				(繊維卸)			
製造業				小売業			
(食料品)				(飲食)			
(織物)				(石油等その他小売)			
(漁網・ローフ)				サービス業			
(鉄工)				(旅館)			
(化学・プラスチック)				運輸通信業			
建設業				(旅客・貨物輸送・水運)			



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	-12.2	-4.0	-59.8	-68.8	-3.2	12.1	-15.3	-1.8	-1.0
収益	-17.7	-12.1	-53.3	-68.7	-17.8	0.9	-14.3	-10.5	-7.6
総合	-17.7	-17.2	-57.0	-67.0	-15.4	-1.0	-15.4	-6.6	1.9

◎DI (ディフュージョン・インデックス 業況判断指数)について

DIは景気が上向きか、下向きかを表す指数である。

DI(%)=増加・良好などの割合-減少・悪化などの割合

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| (注)生産額・売上額 :DI=(増加)-(減少) | 採算(収益) :DI=(上昇)-(下降) |
| 製品・商品在庫 :DI=(減少)-(増加) | 従業員数 :DI=(増加)-(減少) |
| 資金繰り :DI=(好転)-(悪化) | 業況(総合判断):DI=(好転)-(悪化) |

- | |
|-----------------|
| DIが0より大 ⇒ 景気上向き |
| DIが0 ⇒ 景気横ばい |
| DIが0より小 ⇒ 景気下向き |

(総合判断のDIの目安)

- | | | |
|----------------|---------------|--------------|
| DI 50%以上
 | DI 6~49%
 | DI 5~-5%
 |
| DI -6~-49%
 | DI -50%以下
 | |

6. 業種別報告

製造業

売上DI値は1.9、前期実績(1~3月期 8.0)に比して-6.1ポイントの下降、収益DI値は-5.7、前期実績(1~3月期 4.0)に比して-9.7ポイントの下降、総合判断DI値は-3.9、前期実績(1~3月期 0.0)に比して-3.9ポイントの横バイとなった。＜工作機械関係＞ 日本工作機械工業会の受注総額では、4月1,239億円、5月1,239億円、6月1,320億円。内需・外需ともに好調を維持。当地区で同様の傾向も、コスト負担増による収益悪化が不安材料。＜自動車部品関係＞トヨタの国内日当たり生産は自動車は半導体不足の影響を受けながらも、堅調に1万4千台前後で推移。

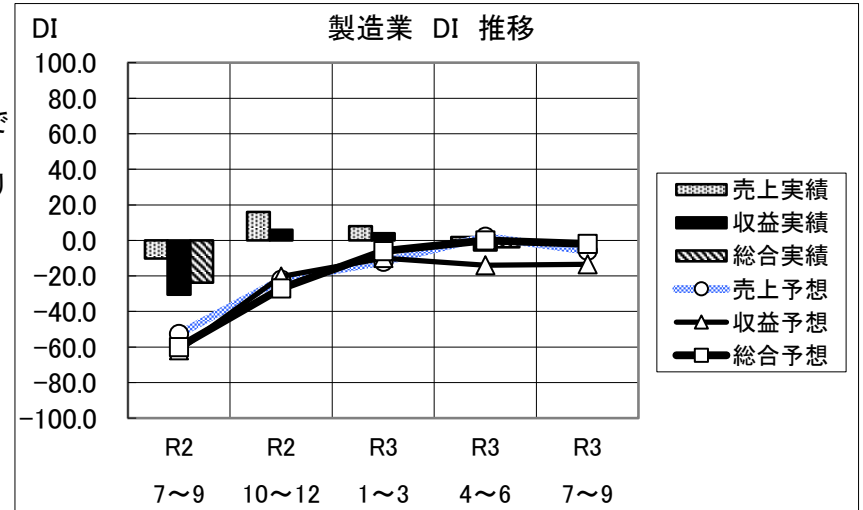
向こう3カ月の見通し

売上DI値は-5.8ポイントの下降、収益DI値は-13.4ポイントの下降、総合判断DI値は-1.9ポイントの横バイとなっている。

製造業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月～6月 に比べて	前期比 令和3年1月～3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月～9月 の見通し
①生産額・売上額	44.3	1.9	-5.8
②製品・商品在庫	-1.9	-5.7	-5.7
③資金繰り	17.4	1.9	-7.7
④採算(収益)	23.0	-5.7	-13.4
⑤従業員数(含む臨時・パート)	9.6	13.5	1.9
⑥貴社の業況(総合判断)	28.9	-3.9	-1.9



＜業況判断DIの推移＞

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	-10.2	16.0	8.0	1.9	-5.8
収益	-30.5	6.0	4.0	-5.7	-13.4
総合	-23.8	0.0	0.0	-3.9	-1.9

[食料品]

売上DI値は16.6、前期実績(1~3月期 -50.0)に比して66.6ポイントの上昇、収益DI値は16.6、前期実績(1~3月期 -16.6)に比して33.2ポイントの上昇、総合判断DI値は0.0、前期実績(1~3月期 -16.6)に比して16.6ポイントの上昇となった。原料全般が高騰で収益圧迫。米中の買付けが旺盛で日本の必要分確保が難しい状況。他方、国内市場では業務筋の回復が遅れ出口が見えない。小売は巣ごもり需要が薄れている。

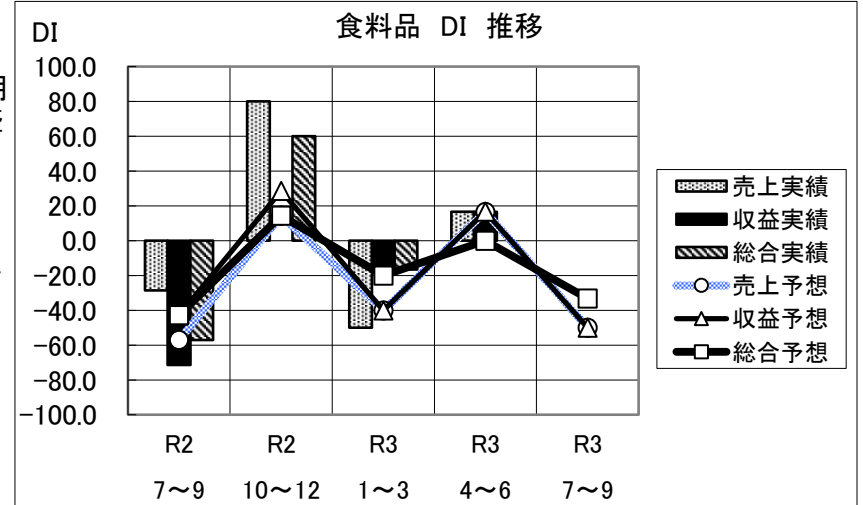
向こう3カ月の見通し

売上DI値は-50.0ポイントの下降、収益DI値は-50.0ポイントの下降、総合判断DI値は-33.3ポイントの下降となっている。7月は昨年並みも、お盆～秋口の需要が不透明。五輪終了、ワクチン接種の進捗で市場の展開が左右される見込み。

(食料品)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月～6月 に比べて	前期比 令和3年1月～3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月～9月 の見通し
①生産額・売上額	16.6	16.6	-50.0
②製品・商品在庫	-16.7	-16.7	-16.7
③資金繰り	16.7	33.3	-33.3
④採算(収益)	0.0	16.6	-50.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	16.7	-16.7
⑥貴社の業況(総合判断)	0.0	0.0	-33.3



＜業況判断DIの推移＞

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	-28.6	80.0	-50.0	16.6	-50.0
収益	-71.4	0.0	-16.6	16.6	-50.0
総合	-57.1	60.0	-16.6	0.0	-33.3

【織物】

売上DI値は0.0、前期実績(1~3月期 0.0)に比して0.0ポイントの横バイ、収益DI値は-25.0、前期実績(1~3月期 50.0)に比して-75.0ポイントの下降、総合判断DI値は0.0、前期実績(1~3月期 50.0)に比して-50.0ポイントの下降となった。

売上は前期並みを維持。原材料コスト上昇が収益を圧迫。

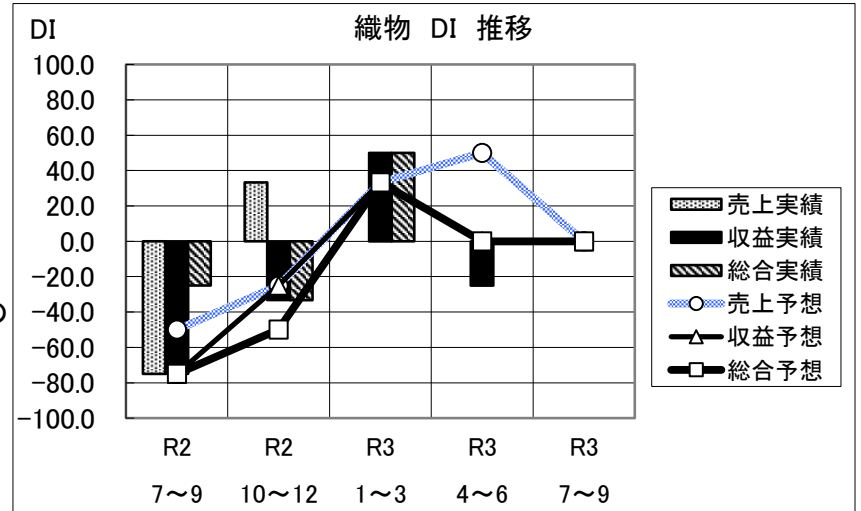
向こう3カ月の見通し

売上DI値は0.0ポイントの横バイ、収益DI値は0.0ポイントの横バイ、総合判断DI値は0.0ポイントの横バイとなっている。

(織物)

(DI 単位: %)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	25.0	0.0	0.0
②製品・商品在庫	-25.0	-25.0	-25.0
③資金繰り	0.0	-25.0	0.0
④採算(収益)	0.0	-25.0	0.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	0.0	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-25.0	0.0	0.0



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	-75.0	33.3	0.0	0.0	0.0
収益	-75.0	-33.3	50.0	-25.0	0.0
総合	-25.0	-33.3	50.0	0.0	0.0

【漁網・ロープ】

売上DI値は16.6、前期実績(1~3月期 -71.4)に比して88.0ポイントの上昇、収益DI値は-50.0、前期実績(1~3月期 -42.9)に比して-7.1ポイントの下降、総合判断DI値は-33.3、前期実績(1~3月期 -71.4)に比して38.1ポイントの上昇となった。コロナ感染拡大により市場は厳しく生産量は10~15%の減少。特に漁業資材は減少が大きい。

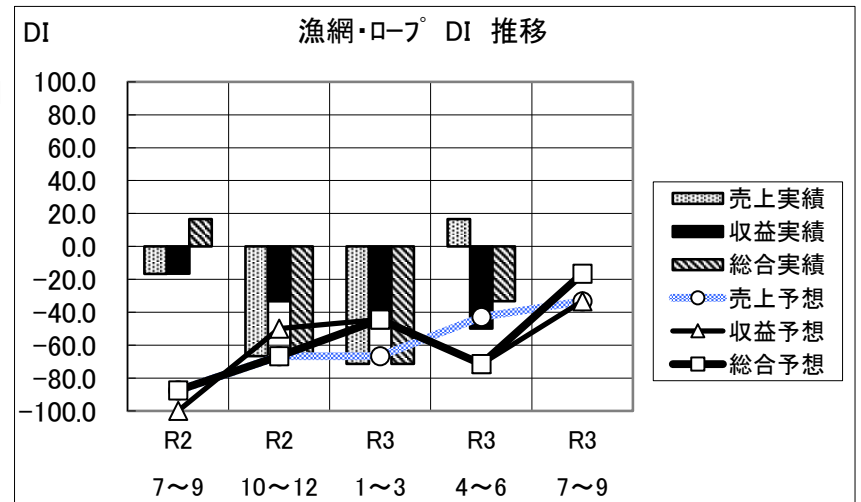
向こう3カ月の見通し

売上DI値は-33.3ポイントの下降、収益DI値は-33.3ポイントの下降、総合判断DI値は-16.6ポイントの下降となっている。主原料、コンテナ不足による物流コスト。炭素繊維の販売価格などコスト負担増も価格転嫁が難しく収益減少。

(漁網・ロープ)

(DI 単位: %)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	-50.0	16.6	-33.3
②製品・商品在庫	-16.7	-16.7	-16.7
③資金繰り	-16.7	0.0	-16.7
④採算(収益)	-83.3	-50.0	-33.3
⑤従業員数(含む臨時・パート)	33.3	0.0	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-66.7	-33.3	-16.6



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	-16.7	-66.7	-71.4	16.6	-33.3
収益	-16.6	-33.3	-42.9	-50.0	-33.3
総合	16.6	-66.7	-71.4	-33.3	-16.6

[鉄工]

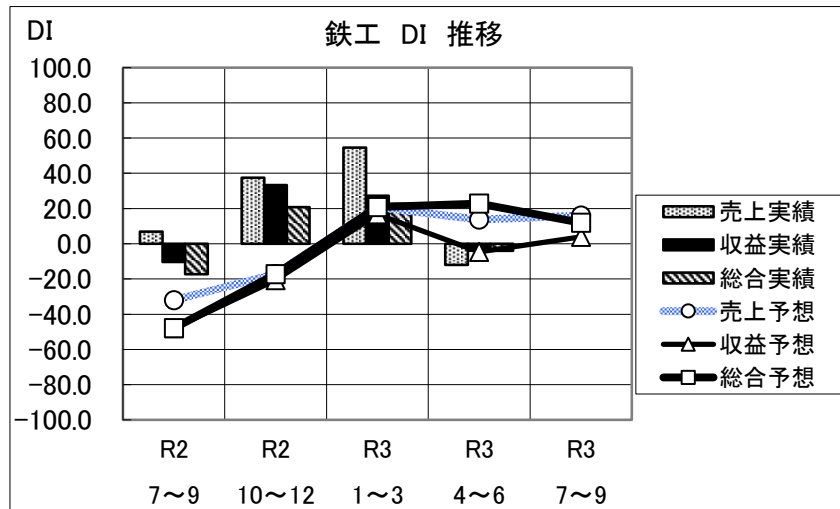
売上DI値は-12.0、前期実績(1~3月期 54.6)に比して-66.6ポイントの下降、収益DI値は-4.0、前期実績(1~3月期 27.3)に比して-31.3ポイントの下降、総合判断DI値は-4.0、前期実績(1~3月期 22.7)に比して-26.7ポイントの下降となった。<工作機械関係> 日本工作機械工業会の受注総額では、4月1,239億円、5月1,239億円、6月1,320億円。内需・外需ともに好調を維持。当地区で同様の傾向も、コスト負担増による収益悪化が不安材料。<自動車部品関係>トヨタの国内日当たり生産は自動車は半導体不足の影響を受けながらも、堅調に1万4千台前後で推移。

向こう3カ月の見通し

売上DI値は16.0ポイントの上昇、収益DI値は4.0ポイントの横バイ、総合判断DI値は12.0ポイントの上昇となっている。

(鉄工) (一般機械器具・輸送用機械・精密機械) (DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	64.0	-12.0	16.0
②製品・商品在庫	0.0	-4.0	4.0
③資金繰り	36.0	0.0	0.0
④採算(収益)	52.0	-4.0	4.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	12.0	20.0	8.0
⑥貴社の業況(総合判断)	56.0	-4.0	12.0



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	6.9	37.5	54.6	-12.0	16.0
収益	-10.3	33.3	27.3	-4.0	4.0
総合	-17.3	20.8	22.7	-4.0	12.0

[化学・プラスチック]

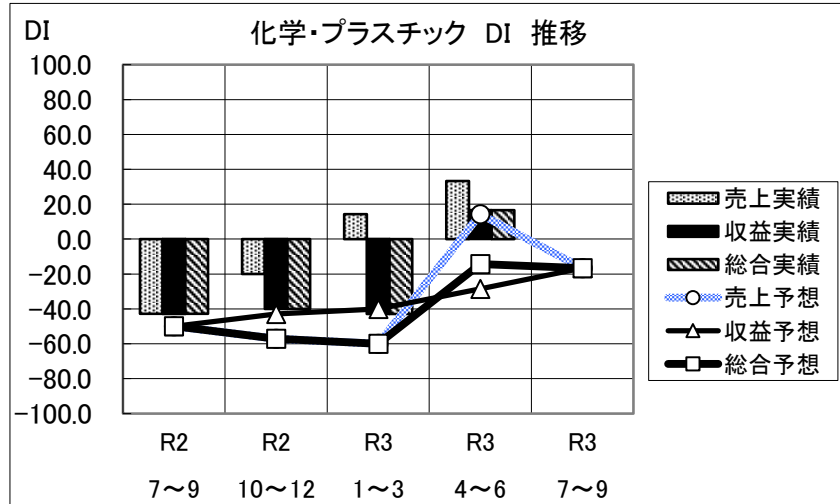
売上DI値は33.3、前期実績(1~3月期 14.3)に比して19.0ポイントの上昇、収益DI値は16.6、前期実績(1~3月期 -42.9)に比して59.5ポイントの上昇、総合判断DI値は16.6、前期実績(1~3月期 -42.9)に比して59.5ポイントの上昇となった。海外市況が好調で需要活発。前年はコロナの影響で売上減少も、今期は少し持ち直した。海外受注次第で油断はできない状況。

向こう3カ月の見通し

売上DI値は-16.6ポイントの下降、収益DI値は-16.6ポイントの下降、総合判断DI値は-16.6ポイントの下降となっている。海外市況引き続き好調を期待。ただし海外取引先のうち欧州、ロシア、インド、アメリカの受注は低迷。

(化学・プラスチック) (DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	50.0	33.3	-16.6
②製品・商品在庫	0.0	0.0	0.0
③資金繰り	0.0	0.0	0.0
④採算(収益)	16.6	16.6	-16.6
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-16.6	16.7	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	33.3	16.6	-16.6



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	-42.8	-20.0	14.3	33.3	-16.6
収益	-42.9	-40.0	-42.9	16.6	-16.6
総合	-42.8	-40.0	-42.9	16.6	-16.6

建設業

売上DI値は-50.0、前期実績(1~3月期 -22.2)に比して-27.8ポイントの下降、収益DI値は-42.9、前期実績(1~3月期 -33.3)に比して-9.6ポイントの下降、総合判断DI値は-14.3、前期実績(1~3月期 -33.3)に比して19.0ポイントの上昇となった。年度当初という事もあり仕事量が少なく売上は停滞

向こう3カ月の見通し

売上DI値は50.0ポイントの上昇、収益DI値は28.6ポイントの上昇、総合判断DI値は28.6ポイントの上昇となっている。公共事業等が動き出し改善傾向の見込み

建設業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	-50.0	-50.0	50.0
②製品・商品在庫	0.0	0.0	0.0
③資金繰り	-12.5	-25.0	-12.5
④採算(収益)	-57.1	-42.9	28.6
⑤従業員数(含む臨時・パート)	37.5	12.5	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-28.6	-14.3	28.6

卸売業

売上DI値は15.4、前期実績(1~3月期 -46.1)に比して61.5ポイントの上昇、収益DI値は-15.4、前期実績(1~3月期 -30.8)に比して15.4ポイントの上昇、総合判断DI値は-23.1、前期実績(1~3月期 -41.7)に比して18.6ポイントの上昇となった。

向こう3カ月の見通し

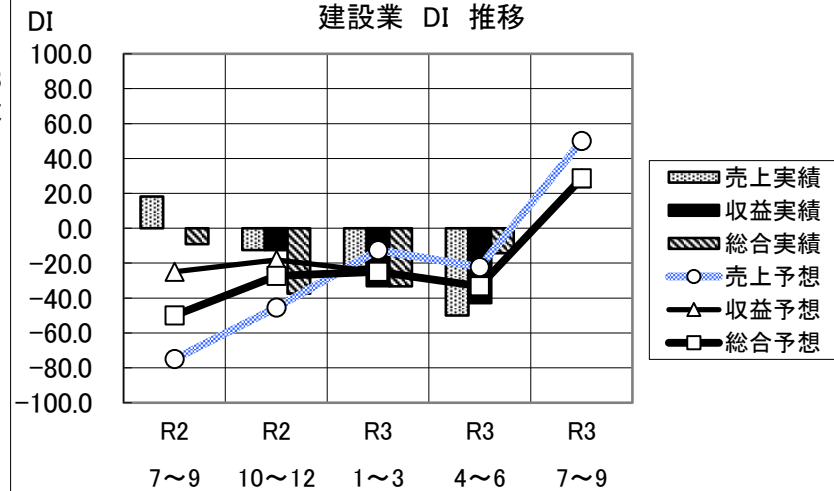
売上DI値は-15.4ポイントの下降、収益DI値は-23.1ポイントの下降、総合判断DI値は0.0ポイントの横バイとなっている。

卸売業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	-30.8	15.4	-15.4
②製品・商品在庫	-30.8	-30.8	-46.1
③資金繰り	0.0	0.0	0.0
④採算(収益)	-38.4	-15.4	-23.1
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-30.8	-15.4	-7.7
⑥貴社の業況(総合判断)	-53.8	-23.1	0.0

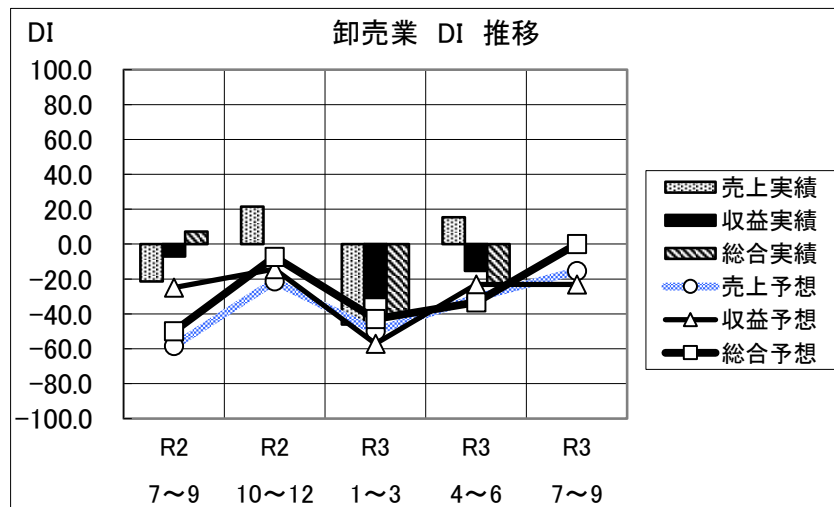
建設業 DI 推移



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	18.2	-12.5	-22.2	-50.0	50.0
収益	0.0	-12.5	-33.3	-42.9	28.6
総合	-9.1	-37.5	-33.3	-14.3	28.6

卸売業 DI 推移



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	-21.4	21.5	-46.1	15.4	-15.4
収益	-7.1	0.0	-30.8	-15.4	-23.1
総合	7.2	0.0	-41.7	-23.1	0.0

【繊維卸】

売上DI値は8.3、前期実績(1~3月期 -41.7)に比して50.0ポイントの上昇、収益DI値は-25.0、前期実績(1~3月期 -25.0)に比して0.0ポイントの横バイ、総合判断DI値は-33.3、前期実績(1~3月期 -36.4)に比して3.1ポイントの横バイとなった。<産業資材>車両用基布に1~3月並み堅調。一部で半導体不足による生産調整も。他の産業資材は5~6割程度。<インテリア>昨年4月から好調に推移し今年の4~5月は昨年以上も6月は昨年に比べ巣ごもり・給付金等の後押しがなく平年並み。<アパレル>リネン(麻)関係は生産量が限られ需要超過で高騰。

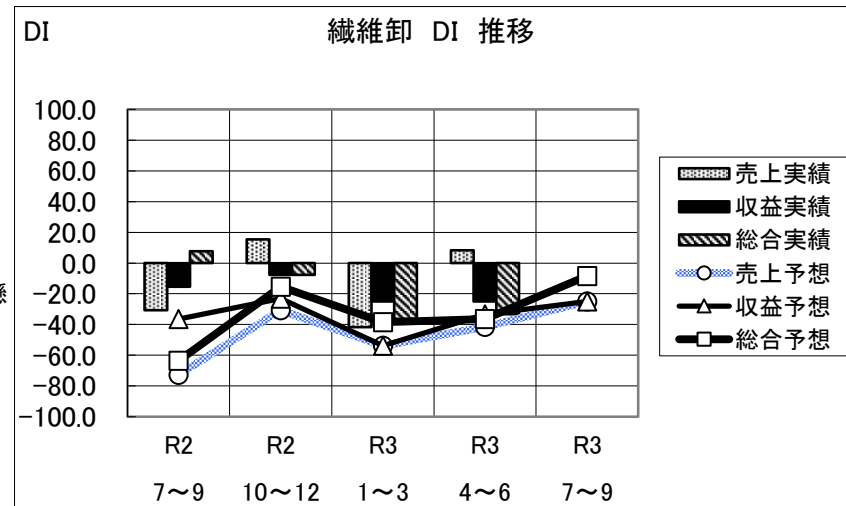
向こう3カ月の見通し

売上DI値は-25.0ポイントの下降、収益DI値は-25.0ポイントの下降、総合判断DI値は-8.4ポイントの下降となっている。<産業資材>車両用基布は4~6月並み堅調の見通し。半導体不足等による影響を注視。ほかの産業資材は回復途上か。原材料・外注・物流費のコスト増で採算悪化を懸念。<インテリア>7月は昨年同時期の巣ごもり需要の反動を懸念。8月以降は新商品導入等で昨年並みの見込み。<アパレル>ワクチン接種の進捗で9月以降の景気回復に期待。

(繊維卸)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	-41.7	8.3	-25.0
②製品・商品在庫	-33.4	-33.4	-41.7
③資金繰り	0.0	0.0	0.0
④採算(収益)	-50.0	-25.0	-25.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-25.0	-8.3	-16.7
⑥貴社の業況(総合判断)	-58.3	-33.3	-8.4



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	-30.7	15.4	-41.7	8.3	-25.0
収益	-15.4	-7.7	-25.0	-25.0	-25.0
総合	7.7	-7.7	-36.4	-33.3	-8.4

小売業

売上DI値は-27.8、前期実績(1~3月期 -26.6)に比して-1.2ポイントの横バイ、収益DI値は-23.6、前期実績(1~3月期 -13.3)に比して-10.3ポイントの下降、総合判断DI値は-22.2、前期実績(1~3月期 0.0)に比して-22.2ポイントの下降となった。コロナの影響で消費の冷え込み、冠婚葬祭の縮小もあり先行き不安が続く。

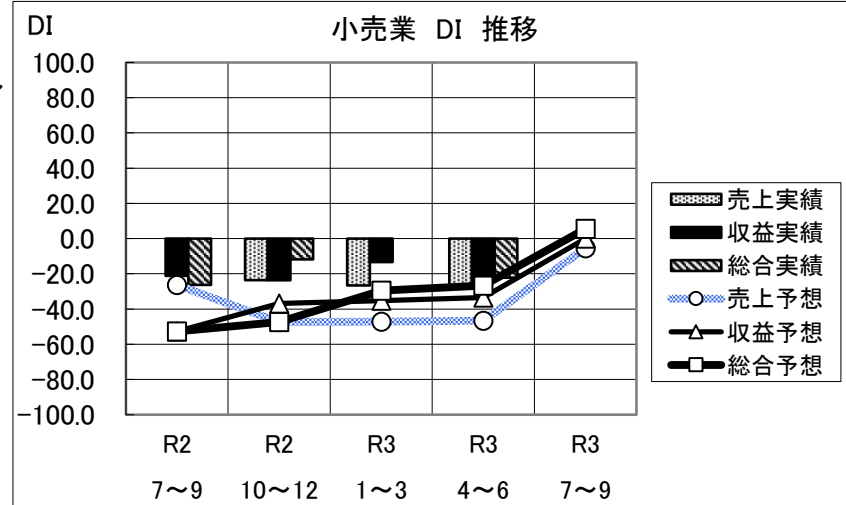
向こう3カ月の見通し

売上DI値は-5.5ポイントの下降、収益DI値は0.0ポイントの横バイ、総合判断DI値は5.5ポイントの横バイとなっている。お中元の温室みかん等ギフト需要に期待。個人消費拡大に期待出来ず不安が残る。

小売業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	-22.2	-27.8	-5.5
②製品・商品在庫	0.0	-5.5	-5.6
③資金繰り	5.5	-11.1	11.1
④採算(収益)	-16.7	-23.6	0.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-16.6	-22.2	-16.7
⑥貴社の業況(総合判断)	-11.1	-22.2	5.5



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	0.0	-23.6	-26.6	-27.8	-5.5
収益	-21.1	-23.6	-13.3	-23.6	0.0
総合	-26.3	-11.8	0.0	-22.2	5.5

[飲食]

売上DI値は0.0、前期実績(1~3月期 -100.0)に比して100.0ポイントの上昇、収益DI値は0.0、前期実績(1~3月期 0.0)に比して0.0ポイントの横バイ、総合判断DI値は-33.4、前期実績(1~3月期 0.0)に比して-33.4ポイントの下降となった。春の緊急事態宣言等で需要は一進一退。やや回復傾向が見えるも酒類提供の問題もあり厳しい状況が続く。

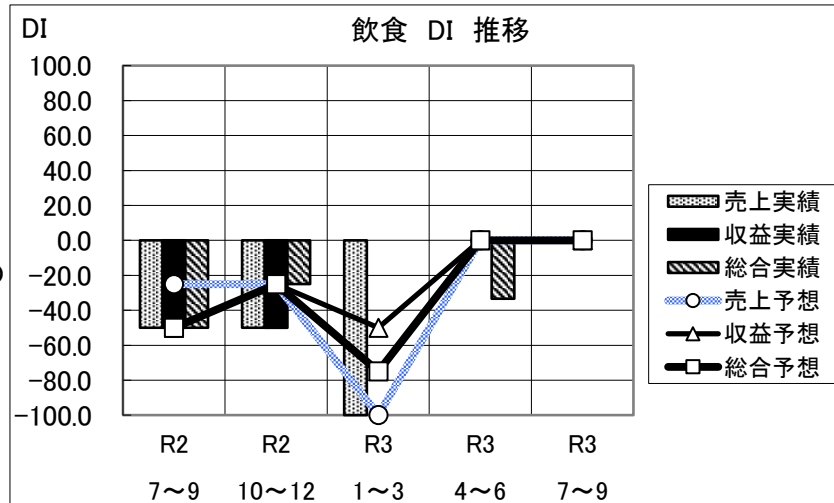
向こう3カ月の見通し

売上DI値は0.0ポイントの横バイ、収益DI値は0.0ポイントの横バイ、総合判断DI値は0.0ポイントの横バイとなっている。感染拡大傾向にあり、ニューあいちスタンダード等の感染症対策を進めながら事業継続を図りたい。

(飲食)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	0.0	0.0	0.0
②製品・商品在庫	0.0	0.0	0.0
③資金繰り	66.7	66.7	66.7
④採算(収益)	0.0	0.0	0.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	-33.3	-66.7
⑥貴社の業況(総合判断)	-33.4	-33.4	0.0



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	-50.0	-50.0	-100.0	0.0	0.0
収益	-50.0	-50.0	0.0	0.0	0.0
総合	-50.0	-25.0	0.0	-33.4	0.0

[石油等その他小売]

売上DI値は-28.6、前期実績(1~3月期 0.0)に比して-28.6ポイントの下降、収益DI値は-57.1、前期実績(1~3月期 -14.3)に比して-42.8ポイントの下降、総合判断DI値は-28.6、前期実績(1~3月期 0.0)に比して-28.6ポイントの下降となった。協調減産や経済活動の再開で需要超過が続く原油は値上がりを受け、原油価格(WTI期近物/1バレル)は60~70ドル台前半で推移。

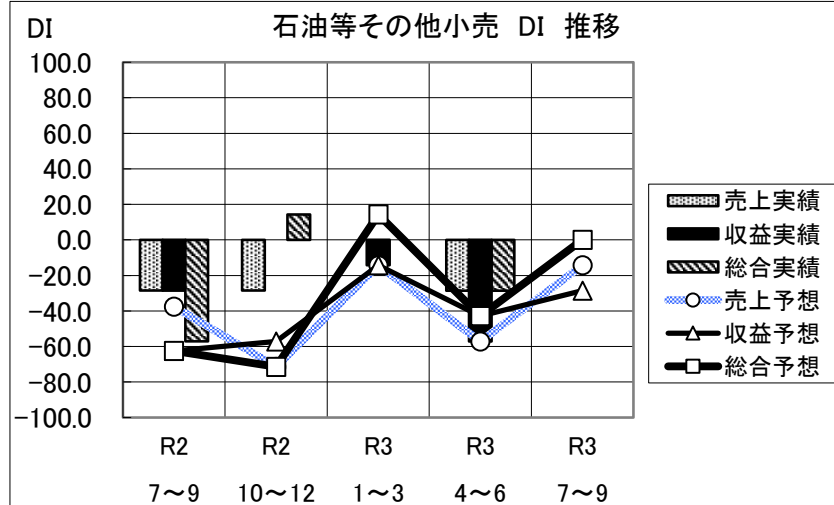
向こう3カ月の見通し

売上DI値は-14.3ポイントの下降、収益DI値は-28.6ポイントの下降、総合判断DI値は0.0ポイントの横バイとなっている。OPECプラスの協調減産早期終了が協議されるも、当面は需要超過により高水準での推移が見込まれる。

(石油等その他小売)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	-28.6	-28.6	-14.3
②製品・商品在庫	0.0	0.0	0.0
③資金繰り	0.0	-28.6	-14.3
④採算(収益)	-57.1	-57.1	-28.6
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-28.6	-28.6	-14.3
⑥貴社の業況(総合判断)	-14.3	-28.6	0.0



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	-28.5	-28.5	0.0	-28.6	-14.3
収益	-28.6	0.0	-14.3	-57.1	-28.6
総合	-57.1	14.3	0.0	-28.6	0.0

サービス業

売上DI値は-10.0、前期実績(1~3月期 -60.0)に比して50.0ポイントの上昇、収益DI値は-20.0、前期実績(1~3月期 -60.0)に比して40.0ポイントの上昇、総合判断DI値は10.0、前期実績(1~3月期 -60.0)に比して70.0ポイントの上昇となった。

向こう3カ月の見通し

売上DI値は-10.0ポイントの下降、収益DI値は-10.0ポイントの下降、総合判断DI値は-10.0ポイントの下降となっている。

サービス業

(DI 単位: %)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	40.0	-10.0	-10.0
②製品・商品在庫	-10.0	-10.0	-10.0
③資金繰り	-10.0	-10.0	-40.0
④採算(収益)	30.0	-20.0	-10.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	0.0	10.0
⑥貴社の業況(総合判断)	20.0	10.0	-10.0

【旅館】

売上DI値は20.0、前期実績(1~3月期 -100.0)に比して120.0ポイントの上昇、収益DI値は0.0、前期実績(1~3月期 -100.0)に比して100.0ポイントの上昇、総合判断DI値は20.0、前期実績(1~3月期 -100.0)に比して120.0ポイントの上昇となった。春休みから4月中旬まで一昨年比3~5割。4月中旬以降まん防・緊急事態宣言で宿泊者数は激減。4~6期全体では令和元年度比で2~3割の実績に留まる。6月に2年ぶり開催の形原温泉あじさい祭りは個人旅行者中心の利用。

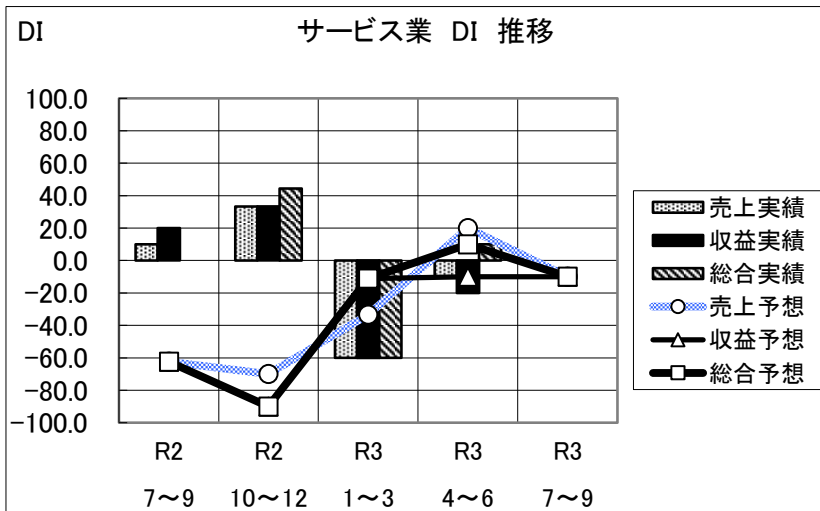
向こう3カ月の見通し

売上DI値は0.0ポイントの横バイ、収益DI値は0.0ポイントの横バイ、総合判断DI値は0.0ポイントの横バイとなっている。未だ厳しい状況で夏休みシーズンの予約状況も厳しい。GoTo事業やLoveあいちキャンペーンの再開も不透明。秋頃の募集旅行や修学旅行も少しずつ入っているが状況を注視し、感染対策の徹底を図りたい。西浦温泉パームビーチ・三河大島の海開きは喜ばしいこと。観光地としての姿を取り戻しつつあると感じている。

(旅館)

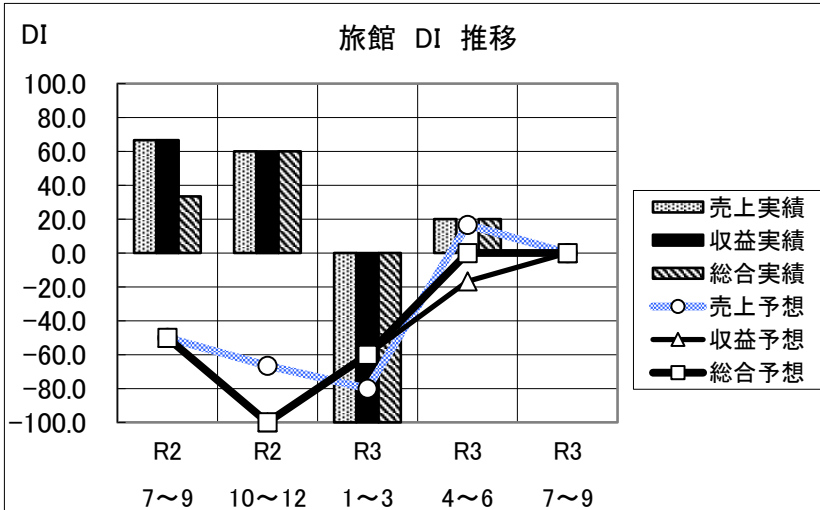
(DI 単位: %)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	100.0	20.0	0.0
②製品・商品在庫	-20.0	-20.0	-20.0
③資金繰り	0.0	0.0	-60.0
④採算(収益)	60.0	0.0	0.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	0.0	20.0
⑥貴社の業況(総合判断)	40.0	20.0	0.0



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	10.0	33.3	-60.0	-10.0	-10.0
収益	20.0	33.3	-60.0	-20.0	-10.0
総合	0.0	44.4	-60.0	10.0	-10.0



<業況判断DIの推移>

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	66.6	60.0	-100.0	20.0	0.0
収益	66.6	60.0	-100.0	0.0	0.0
総合	33.4	60.0	-100.0	20.0	0.0

運輸通信業

売上DI値は83.3、前期実績(1~3月期 -25.0)に比して108.3ポイントの上昇、収益DI値は50.0、前期実績(1~3月期 -25.0)に比して75.0ポイントの上昇、総合判断DI値は33.3、前期実績(1~3月期 -25.0)に比して58.3ポイントの上昇となった。

向こう3カ月の見通し

売上DI値は33.3ポイントの上昇、収益DI値は16.7ポイントの上昇、総合判断DI値は16.7ポイントの上昇となっている。

運輸通信業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	66.6	83.3	33.3
②製品・商品在庫	0.0	0.0	0.0
③資金繰り	0.0	0.0	0.0
④採算(収益)	16.7	50.0	16.7
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	0.0	50.0
⑥貴社の業況(総合判断)	16.6	33.3	16.7

【旅客・貨物輸送・水運】

売上DI値は83.3、前期実績(1~3月期 0.0)に比して83.3ポイントの上昇、収益DI値は50.0、前期実績(1~3月期 0.0)に比して50.0ポイントの上昇、総合判断DI値は33.3、前期実績(1~3月期 0.0)に比して33.3ポイントの上昇となった。＜貨物輸送＞前年比・前期比とも輸出貨物量増加傾向

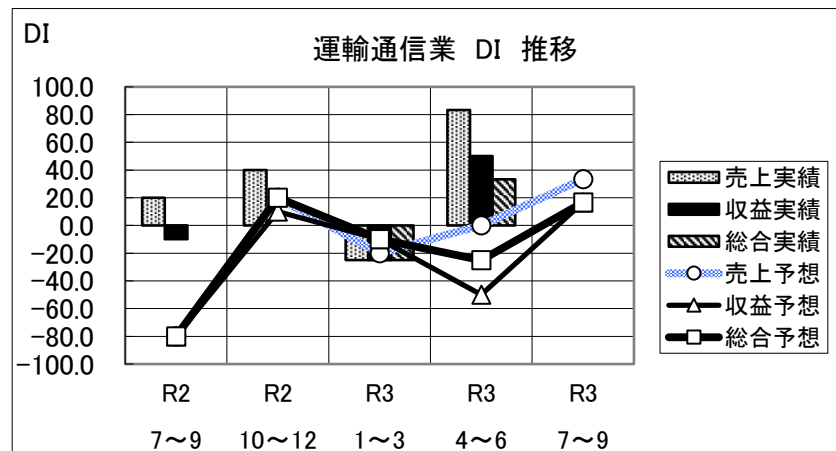
向こう3カ月の見通し

売上DI値は33.3ポイントの上昇、収益DI値は16.7ポイントの上昇、総合判断DI値は16.7ポイントの上昇となっている。＜貨物輸送＞前年比・前期比とも輸出貨物量増加見込み

(旅客・貨物輸送・水運)

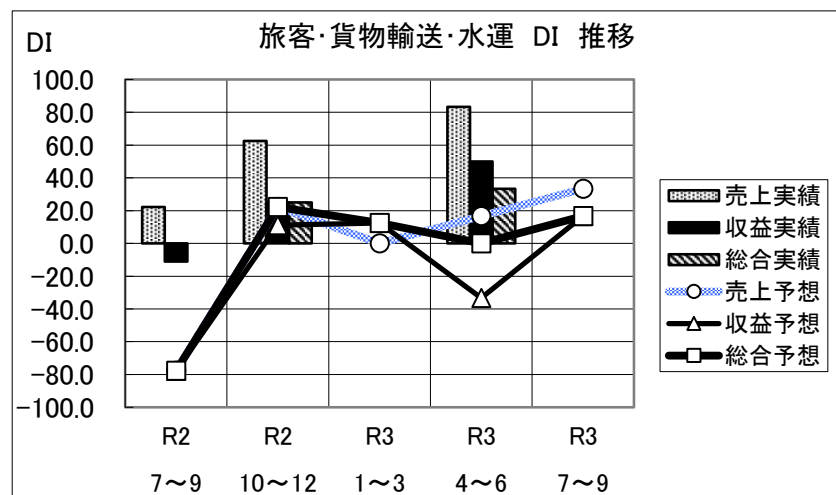
(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年4月~6月 に比べて	前期比 令和3年1月~3月 に比べて	来期見通し 令和3年7月~9月 の見通し
①生産額・売上額	66.6	83.3	33.3
②製品・商品在庫	0.0	0.0	0.0
③資金繰り	0.0	0.0	0.0
④採算(収益)	16.7	50.0	16.7
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	0.0	50.0
⑥貴社の業況(総合判断)	16.6	33.3	16.7



＜業況判断DIの推移＞

	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	20.0	40.0	-25.0	83.3	33.3
収益	-10.0	0.0	-25.0	50.0	16.7
総合	0.0	0.0	-25.0	33.3	16.7

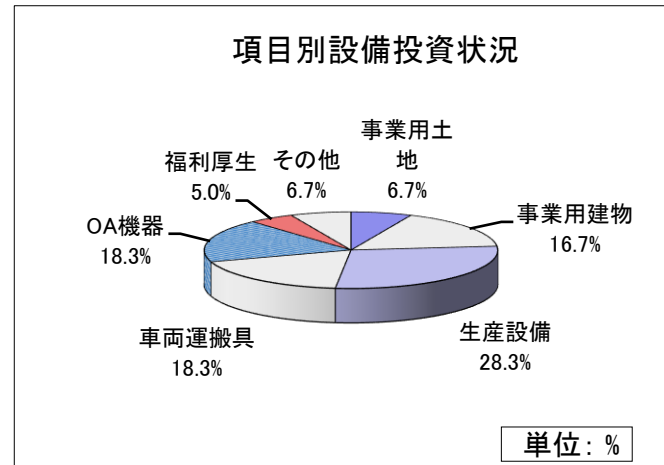
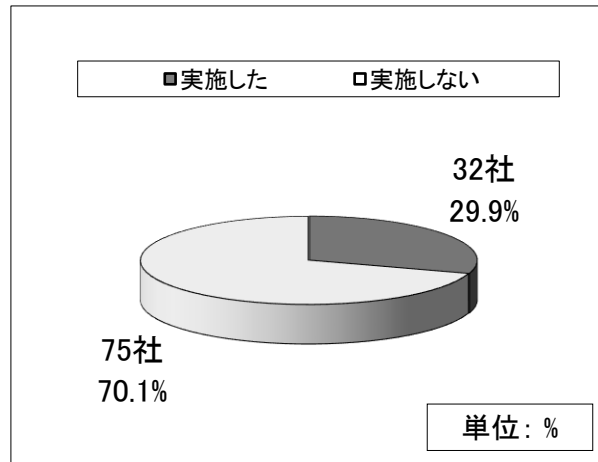


＜業況判断DIの推移＞

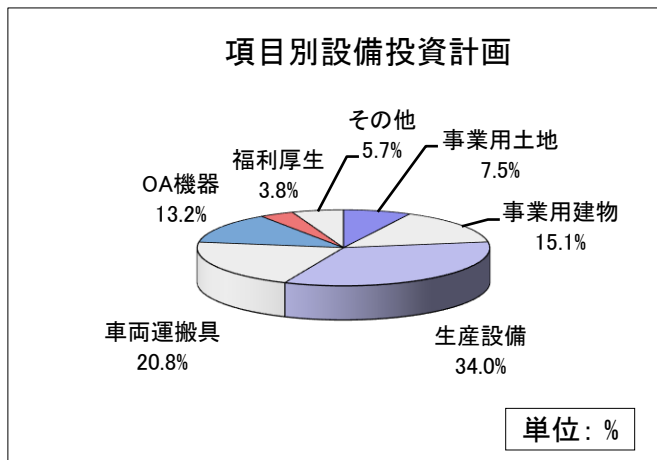
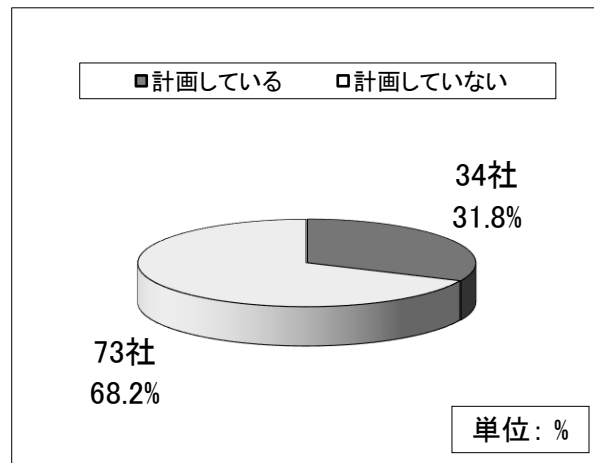
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月見通し
売上	22.2	62.5	0.0	83.3	33.3
収益	-11.1	25.0	0.0	50.0	16.7
総合	0.0	25.0	0.0	33.3	16.7

7. 設備投資動向

＜今期 R3.4～6＞ 設備投資実施状況 全業種＞



＜来期 R3.7～9＞ 設備投資実施状況 全業種＞



◎設備投資・計画内容(全業種)

	今期	来期見通し
事業用土地	4	4
事業用建物	10	8
生産設備	17	18
車両運搬具	11	11
OA機器	11	7
福利厚生	3	2
その他	4	3
計	60	53

(単位:件)

◎今期・来期 設備投資実施、計画動向

(単位:事業所)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	運輸通信業
1. 今期 R3.4～6	32	20	2	1	4	2	3
2. 来期 R3.7～9	34	22	0	2	3	3	4

8. 経営上の問題点

項目別経営上の問題点(全業種)

(上位5項目 回答企業数 106 社)

	項目	件数 %
1	売上の停滞・減少	62 58.5%
2	利幅の縮小	46 43.4%
3	原材料(燃料)高	41 38.7%
4	人手不足	23 21.7%
5	工場機械店舗の狭小・老朽化	19 17.9%

(複数回答の為、総数と一致しません。)

業種別経営上の問題点

(上位3項目)

	1 位	2 位	3 位
製造業 52 社	売上の停滞・減少 26 社 50.0%	原材料(燃料)高 25 社 48.1%	利幅の縮小 23 社 44.2%
建設業 7 社	売上の停滞・減少 6 社 85.7%	利幅の縮小 6 社 85.7%	原材料(燃料)高 3 社 42.9%
卸売業 13 社	売上の停滞・減少 9 社 69.2%	利幅の縮小 5 社 38.5%	在庫過多 4 社 30.8%
小売業 18 社	売上の停滞・減少 11 社 61.1%	人手不足 8 社 44.4%	利幅の縮小 5 社 27.8%
サービス業 10 社	売上の停滞・減少 9 社 90.0%	利幅の縮小 5 社 50.0%	競争激化 3 社 30.0%
運輸通信業 6 社	原材料(燃料)高 4 社 66.7%	利幅の縮小 2 社 33.3%	人件費の増加 2 社 33.3%

(複数回答の為、総数と一致しません。)

付帯調査(地域データ)

No.91

番号	調査項目	単位	R03.08報告	基準日	R03.05報告	基準日	R03.02報告	基準日	R02.11報告	基準日	出典
1	人口	人	79,468	R3.7.1	79,558	R3.4.1	79,684	R2.12.1	79,762	R2.10.1	蒲郡市市民課 住民基本台帳
	(うち外国人)		3,224		3,229		3,236		3,228		
2	世帯数	世帯	34,763	R3.7.1	33,045	R3.4.1	32,979	R2.12.1	32,953	R2.10.1	〃
	(うち外国人)		1,572		1,513		1,592		1,603		
3	15才～65才生産人口	人			47,518	R3.4.1	47,562	R2.12.1	46,681	R2.10.1	〃
	(うち外国人)				2,669		2,663		2,660		
4	全国完全失業率	%		R3.4～6月	2.8	R3.1～3月	2.9	R2.10～12月	3.0	R2.7～9月	総務省 「労働力調査」
	愛知県完全失業率	%		R3.4～6月	2.7	R3.1～3月	2.9	R2.10～12月	3.0	R2.7～9月	愛知県 「労働力調査地方集計結果」
5	全国有効求人倍率	倍	1.09	R03.5月	1.09	R03.2月	1.06	R02.12月	1.03	R2.9月	厚生労働省 「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」
	蒲郡管内有効求人倍率	倍	0.59	R03.5月	0.82	R03.2月	0.63	R02.11月	0.76	R2.8月	豊川公共職業安定所蒲郡出張所 業務月報より

全国データ

	労働			設備投資・住宅投資		GDP・景気動向指数		消費	
	完全失業者数 (万人)	完全失業率 (季調・%)	有効求人倍率 (季調・倍)	機械受注 (船舶を除く)前年同月比(%)	新設住宅着工 (戸数)	名目国内総生産 (兆円)	実質成長率 実質季節調整系列(前期比)	消費支出 前年同月比(%) (実質)	新車販売台数(登録車) (万台)
1996年度	225	3.3	0.72	11.4	1,630,378	528.8	2.9	1.0	-
1997年度	236	3.5	0.69	▲ 3.9	1,341,347	533.4	0.0	▲ 0.2	-
1998年度	294	4.3	0.50	▲ 18.6	1,179,536	526.0	▲ 0.9	▲ 0.8	-
1999年度	320	4.7	0.49	0.6	1,226,207	521.9	0.7	▲ 1.8	-
2000年度	320	4.7	0.59	16.6	1,213,157	528.4	2.5	▲ 1.2	-
2001年度	340	5.0	0.59	▲ 12.6	1,173,170	519.2		▲ 1.7	-
2002年度	359	5.4	0.54	▲ 3.7	1,145,553	514.9	0.9	▲ 1.0	-
2003年度	350	5.3	0.64	8.2	1,173,649	517.7	2.0	▲ 1.1	588.7
2004年度	313	4.7	0.83	6.5	1,193,038	521.3	1.7	0.4	582.1
2005年度	294	4.4	0.95	5.6	1,249,366	525.6	1.0	▲ 0.4	586.2
2006年度	275	4.1	1.06	5.0	1,285,246	529.0	1.4	▲ 2.2	561.9
2007年度	257	3.9	1.04	2.3	1,035,598	530.9	1.2	0.9	532.0
2008年度	265	4.0	0.88	▲ 16.6	1,039,214	509.5	▲ 3.4	▲ 1.9	470.1
2009年度	336	5.1	0.47	▲ 15.4	775,277	492.0	▲ 2.2	▲ 0.2	488.0
2010年度	334	5.1	0.52	19.4	819,020	499.4	3.3	0.3	460.1
2011年度	284	4.5	0.65	4.2	841,246	494.0	0.5	▲ 2.2	475.3
2012年度	285	4.3	0.80	▲ 7.1	893,002	494.4	0.8	1.1	521.0
2013年度	265	4.0	0.93	10.6	987,254	507.3	2.6	1.0	569.2
2014年度	236	3.6	1.09	8.0	880,470	518.2	▲ 0.4	▲ 2.9	529.7
2015年度	222	3.4	1.23	▲ 1.2	920,537	532.9	1.3	▲ 2.3	493.8
2016年1月	215	3.2	1.28	▲ 11.3	67,815			▲ 3.1	23.7
(平成28年)2月	217	3.3	1.28	▲ 6.7	72,831	135.8	0.5	1.2	27.5
3月	214	3.2	1.30	9.8	75,744			▲ 5.3	40.4
4月	214	3.2	1.34	▲ 1.1	82,398			▲ 0.4	21.2
5月	212	3.2	1.36	▲ 7.3	78,728	134.2	0.1	▲ 1.1	22.3
6月	208	3.2	1.37	1.3	85,953			▲ 2.2	28.7
7月	201	3.1	1.37	▲ 4.2	85,208			▲ 0.5	28.1
8月	208	3.1	1.37	0.2	82,242	132.6	0.2	▲ 4.6	22.3
9月	202	3.0	1.38	▲ 4.5	85,622			▲ 2.1	31.7
10月	198	3.0	1.40	▲ 10.9	87,707			▲ 0.4	24.2
11月	200	3.1	1.41	24.5	85,051	141.6	0.3	▲ 1.5	27.3
12月	202	3.1	1.43	17.3	78,406			▲ 0.3	26.4
2017年1月	202	3.0	1.43	10.7	76,491			▲ 1.2	25.8
(平成29年)2月	192	2.8	1.43	▲ 0.7	70,912	136.2	0.7	▲ 3.8	31.2
3月	187	2.8	1.45	▲ 12.5	75,887			▲ 1.3	46.0
4月	187	2.8	1.48	▲ 0.2	83,979			▲ 1.4	22.4
5月	206	3.1	1.49	8.6	78,481	136.0	0.3	▲ 0.1	23.7
6月	190	2.8	1.51	3.4	87,456			2.3	31.5
7月	189	2.8	1.52	10.5	83,234			▲ 0.2	27.8
8月	185	2.8	1.52	19.7	80,562	135.7	0.8	0.6	23.3
9月	188	2.8	1.52	7.6	83,128			▲ 0.3	31.8
10月	184	2.8	1.55	12.3	83,057			0.0	23.1
11月	180	2.7	1.56	5.8	84,703	145/0	0.4	1.7	25.8
12月	181	2.8	1.59	▲ 6.6	76,751			▲ 0.1	26.2
2018年1月	164	2.4	1.59	8.7	66,358			2.0	24.3
(平成30年)2月	170	2.5	1.58	7.8	69,071	138.8	0.0	0.1	29.6
3月	172	2.5	1.59	▲ 2.8	69,616			▲ 0.2	43.8
4月	172	2.5	1.59	11.4	84,226			▲ 1.3	22.5
5月	155	2.2	1.60	15.3	79,539	137.8	0/0	▲ 3.9	23.6
6月	167	2.4	1.62	▲ 4.2	81,275			▲ 1.2	29.2
7月	170	2.4	1.63	11.3	82,615			0.1	28.1
8月	166	2.4	1.63	4.9	81,860	135.1	▲ 0.7	2.8	23.3
9月	161	2.3	1.64	▲ 5.4	81,903			▲ 1.6	30.8
10月	166	2.4	1.62	6.1	83,330			▲ 0.3	26.1
11月	169	2.5	1.63	4.0	84,213	144.3	0.5	▲ 0.6	27.9
12月	164	2.4	1.63	▲ 4.0	78,364			0.1	25.0
2019年1月	172	2.5	1.63	▲ 8.5	67,087			2.0	24.9
(平成31年)2月	160	2.3	1.63	▲ 3.7	71,966	139.5	0.6	1.7	30.0
3月	174	2.5	1.62	▲ 0.2	76,558			2.1	41.7
4月	168	2.4	1.63	▲ 6.0	79,389			1.3	23.0
(令和元年)5月	162	2.4	1.62	▲ 10.1	72,581	139.2	0.1	4.0	24.7
6月	161	2.3	1.61	0.9	81,541			2.7	29.0
7月	154	2.2	1.59	▲ 10.6	79,232			0.8	30.0
8月	154	2.2	1.59	0.9	76,034	137.6	0.2	1.0	24.2
9月	167	2.4	1.58	▲ 6.4	77,915			9.5	34.7
10月	166	2.2	1.58	▲ 8.8	77,123			▲ 5.1	19.2
11月	151	2.2	1.57	▲ 15.2	73,523	144.8	▲ 1.8	▲ 2.0	23.8
12月	145	2.2	1.57	▲ 7.9	72,174			▲ 4.8	22.6
2020年1月	159	2.3	1.49	▲ 0.8	60,341			▲ 3.9	22.1
(令和2年)2月	159	2.4	1.45	▲ 7.7	63,105	137.9	▲ 0.6	▲ 0.3	26.8
3月	176	2.5	1.39	0.1	70,729			▲ 6.0	37.4
4月	189	2.6	1.32	▲ 10.1	69,162			▲ 11.1	17.2
5月	198	2.9	1.20	▲ 20.9	63,839	126.6	▲ 7.8	▲ 16.2	14.7
6月	195	2.8	1.11	▲ 22.4	71,101			▲ 1.2	21.4
7月	197	2.9	1.08	▲ 17.9	70,244			▲ 7.6	23.9
8月	206	3.0	1.04	▲ 17.0	69,101	131.2	5.6	▲ 6.9	19.7
9月	210	3.0	1.03	▲ 1.5	70,186			▲ 10.2	29.3
10月	215	3.1	1.04	▲ 1.2	70,685			1.9	25.3
11月	195	2.9	1.06	1.3	70,798	143.2	2.4	1.1	25.3
12月	194	2.9	1.06	18.7	65,643			▲ 0.6	24.3
2021年1月	197	2.9	1.10	▲ 1.0	58,448			▲ 6.1	23.6
(令和3年)2月	194	2.9	1.09	39.8	60,764	135.2	▲ 1.3	▲ 6.8	26.2
3月	188	2.6	1.10	▲ 5.4	71,787			6.2	38.4
4月	209	2.8	1.09	14.7	74,521			13.0	21.0
5月	211	3.0	1.09	41.1	70,178			11.6	19.3
6月									23.4

(内閣府)

(国土交通省)

(内閣府)

(総務省)

(自販連統計)